

6/11 地鎮祭が行われました



豊頃町農業協同組合加工用馬鈴薯集出荷貯蔵施設新築工事地鎮祭が豊頃佐々田町で行われました。豊頃町農業協同組合の山口良一代表理事組合長をはじめとする関係者46名が参列し、工事の安全と施設の繁栄を祈願しました。

鍬入れの儀を行った後、山口組合長は「非常に厳しい状況が今年も続いています。この施設の果たす役割が非常に大きいと期待しています。来年7月末を工期ということで、ぜひ事故のなく工期の中で完了していただきたいと心から願っております。」と挨拶しました。

6/18 熱中症警戒アラート対応温度計の無料貸与が開始



昨今の熱中症リスクの高まりを受け、対象者への熱中症警戒アラート対応温度計の無料貸与が始まりました。

この温度計は、数字で室内の温度や湿度を表示するだけでなく、熱中症の危険度を段階に応じて音と光でお知らせするものです。

利用者からは、「色で危険度がわかるのは目安になってわかりやすい」との声があり熱中症予防への意識向上につながっている様子でした。今後の熱中症対策の一助として期待されます。



6/8 永年の活躍を称えて旭日双光章を授与



間所恒克さんが「旭日双光章」を授与されました。役場応接室で伝達式が行われ、按田町長から勲章と勲記が手渡されました。

間所さんは昭和50年5月から平成19年4月までの28年間、豊頃町議会議員を務めた功績や豊頃町農業委員会委員として活動していた功績などにより高齢者叙勲の対象となりました。

間所さんは「この度の叙勲は、皆さまの支えあつてのことと心から感謝しています。これからも本町が高齢者の皆さんにとって誇りを持って暮らせる町であってほしいと願っています。」と述べました。

6/15 春季祭典が執り行われました



茂岩神社春季祭典本祭が執り行われました。前日14日に行われた宵宮祭では、春祭りの開始が告げられ、15日の本祭では、秋の五穀豊穡や地域の発展、家内安全が祈願されました。

参列者による玉串奉てんが行われた後、神主の赤澤良一さんは、「昨年は秋祭りの直前に大雨で土砂が流れたりなど、そういった被害もありましたが、今年はそのようなことなく平穏にいてほしいと願っています」と話しました。

6/2 興復社農場名簿版の修復が完了



▲豊頃町郷土資料調査研究員 佐藤 信勝氏

二宮報徳館に設置されている興復社農場名簿版の修復が完了しました。この名簿版は、興復社農場例会（通称：芋コジ）の際出欠確認に使用され、130年余りの歴史が刻まれた大変貴重な町の文化財です。しかしながら、経年と共に一部名簿が紛失してしまいましたが、豊頃町郷土資料調査研究員の佐藤信勝氏をはじめ、(有)大進建設の松原勝行氏による木札寄贈、牛首別報徳会前副会長の原田栄治氏による名札筆耕など地元の方々に協力、ご支援をいただき完成されました。

完成に際し、佐藤氏は「二宮の開拓に160名はすごいなと。とにかく頑張ったという言葉では表せない。」と話し、先人たちの畏敬の念が伺えました。



▲木札にはマツの木が使用されました。

6/6 訓練の成果を魅せる豊頃消防団連合演習開催



茂岩地区救急排水格納庫駐車場で豊頃消防団連合演習が行われました。茂岩市街地を分列行進した後、団員たちは小隊訓練や小型ポンプ操法訓練、一斉放水など日頃の訓練の成果を披露しました。

5/20 町内小学校・保育所で人権の花運動が行われました



5月20日に豊頃小学校、6月1日に茂岩保育所、17日に大津小学校・大津保育所で「人権の花運動」が行われました。

豊頃小学校では、人権擁護委員の羽賀智子さんから「人権は難しい言葉だけど、お花を植えながら、優しい気持ちになって人権を考える時間にしてほしい」とお話がありました。

茂岩保育所では、お花を植えた後、「大きなあれ」と声をかけながら水やりを行い、大津小学校では、保育所の子どもたちのサポートをしながら綺麗なお花を植え付けた後、「これから大切に育てます。ありがとうございます。」とお礼の言葉が交わされました。

広報とよころ

役場だより

広報とよころ

役場だより